

作成日 2013年 5月 10日  
改訂日 2024年 4月 1日

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品の名称 : ライオンソフター  
供給者の会社名称 : ライオンハイジーン株式会社  
住所 : 東京都台東区蔵前1-3-28  
担当部門 : 企画開発部 研究所  
電話番号 : 03-3616-3159  
FAX番号 : 03-3616-3208  
緊急連絡電話番号 : 03-3616-3159  
製品の用途 : 柔軟仕上げ剤  
使用上の制限 : 推奨用途以外で使用しない  
整理番号 : 306

### 2. 危険有害性の要約

#### 【GHS分類】

##### 物理化学的危険性

爆発物 : 分類できない  
可燃性ガス : 区分に該当しない  
エアゾール : 区分に該当しない  
酸化性ガス : 区分に該当しない  
高压ガス : 区分に該当しない  
引火性液体 : 分類できない  
可燃性固体 : 区分に該当しない  
自己反応性化学品 : 分類できない  
自然発火性液体 : 分類できない  
自然発火性固体 : 区分に該当しない  
自己発熱性化学品 : 分類できない  
酸化性液体 : 分類できない  
酸化性固体 : 区分に該当しない  
有機過酸化物 : 分類できない  
金属腐食性化学品 : 分類できない  
鈍性化爆発物 : 分類できない

##### 健康に対する有害性

急性毒性(経口) : 区分に該当しない  
急性毒性(経皮) : 分類できない  
急性毒性(吸入:ガス) : 区分に該当しない  
急性毒性(吸入:蒸気、粉じん、ミスト) : 分類できない  
皮膚腐食性/刺激性 : 分類できない  
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 分類できない  
呼吸器感作性 : 区分1  
皮膚感作性 : 区分1  
生殖細胞変異原性 : 分類できない  
発がん性 : 分類できない  
生殖毒性 : 区分1A  
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分外  
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分2(肝臓)  
誤えん有害性 : 分類できない

##### 環境に対する有害性

水生環境有害性 短期(急性) : 区分3  
水生環境有害性 長期(慢性) : 分類できない  
オゾン層への有害性 : 分類できない

#### 【GHSラベル要素】

##### 絵表示又はシンボル



注意喚起語 : 危険  
危険有害性情報 : アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  
吸入するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を起こすおそれ  
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ  
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(肝臓)

## 水生生物に有害

- 注意書き  
一般 : 受診時は、安全データシート(SDS)または商品を持参する。  
子供の手の届かない所に保管する。  
必ず使用前に「安全データシート(SDS)」と「使用上の注意」をお読みください。
- 安全対策(予防策) : ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。  
必要に応じて呼吸用保護具を着用すること。
- 応急措置(対応策) : 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
目に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。  
ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当を受けること。  
呼吸に関する症状が出た場合: 医師に連絡すること。  
汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
- 保管(貯蔵)  
廃棄 : 常温、室温で保管する。  
内容物/容器を適切な焼却炉で焼却処理するか、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理すること。

## 3. 組成及び成分情報

- 化学物質・混合物の区別 : 混合物  
成分及び濃度

化学名	濃度又は濃度範囲	CAS番号	官報公示整理番号 (化審法)
エタノール	0.3~1%	64-17-5	2-202
エステル型ジアルキルアンモニウム塩	1~10%	非公開	非公開

## 4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
目に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。目の刺激が続く場合は、医師の診断/手当を受けること。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹼で洗うこと。  
皮膚刺激を生じた場合、医師の診断/手当を受けること。
- 飲み込んだ場合 : 吐かずに口の中を十分にすすぎ、水を飲む等の処置をする。  
気分が悪い時は医師に連絡すること。

## 5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 粉末消火薬剤、泡消火薬剤、炭酸ガス、砂、水  
使ってはならない消火剤 : 情報なし。  
特有の危険有害性 : 情報なし。  
特有の消火方法 : 製品の内容液自体は不燃性であるので特別な措置は要しないが、火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は風上から行うこと。  
消火を行う者の保護 : 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 作業には、必ず保護具(手袋、眼鏡)を着用する。  
多量の場合、人を安全に退避させる。  
必要に応じた換気を確保する。
- 環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。  
封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 少量の場合、吸着剤(おがくず、土、砂、ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い  
技術的対策  
(局所排気・全体換気) : 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。  
適切な排気換気装置を使用する。  
安全取扱い注意事項 : 取扱い後はよく洗うこと。  
必要に応じて適切な保護具を着用すること。  
ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
この製品を使用するときは、飲食または喫煙をしないこと。

## 保管

- 保管条件(適切な保管条件及び避けるべき保管条件) : 容器を密閉して室内に保管する。高温となる所に置かない。
- 安全な容器包装材料(推奨材料及び不適切材料) : 製品使用容器に準ずる。

## 8. ばく露防止及び保護措置

- 管理濃度 : 設定されていない。
- 許容濃度-日本産業衛生学会 : 設定されていない。
- 許容濃度-ACGIH : 設定されていない。
- 設備対策 : 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
- 保護具
- 呼吸用保護具 : 防塵マスク
- 眼の保護具 : 安全眼鏡(ゴーグル型)
- 手の保護具 : 不浸透性保護手袋
- 皮膚及び身体の保護具 : 不浸透性保護衣

## 9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 乳濁液体
- 色 : ピンク色
- 臭い : フローラルの香り
- 融点/凝固点 : データなし
- 沸点又は初留点及び沸点範囲 : データなし
- 可燃性 : データなし
- 爆発下限界及び上限界/可燃限界 : データなし
- 引火点 : データなし
- 自然発火点 : データなし
- 分解温度 : データなし
- pH : 2~4(原液)
- 動粘性率 : データなし
- 溶解度 : 水に容易に分散する。
- n-オクタノール/水分配係数(log値) : データなし
- 蒸気圧 : データなし
- 密度及び/又は相対密度 : 約1.0(25°C)
- 相対ガス密度 : データなし
- 粒子特性 : データなし

## 10. 安定性及び反応性

- 化学的安定性 : 通常の使用では安定である。
- 危険有害反応可能性 : 自己反応性はない。
- 避けるべき条件 : 情報なし。
- 混蝕危険物質 : 情報なし。
- 危険有害な分解生成物 : 情報なし。

## 11. 有害性情報

- 急性毒性 (経口) : 区分4の成分を含むため、JIS Z7252:2014 に従いATE(急性毒性推定値)を算出し、ATE>2,000であるため区分外とした。
- 急性毒性 (経皮) : 情報なし。
- 急性毒性 (吸入:ガス) : 情報なし。
- 急性毒性 (吸入:蒸気) : 情報なし。
- 急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト) : 情報なし。
- 皮膚腐食性/刺激性 : 情報なし。
- 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 情報なし。
- 呼吸器感作性又は皮膚感作性 : (呼吸器感作性) 区分1の成分を1%以上含むことから、区分1とした。  
(皮膚感作性) 区分1の成分を1%以上含むことから、区分1とした。
- 生殖細胞変異原性 : 情報なし。
- 発がん性 : 情報なし。
- 生殖毒性 : 区分1Aの成分を0.3%以上含むことから、区分1Aとした。
- 特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 区分3の成分を含むが、含有率が20%未満であるため区分外とした。
- 特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 区分1(肝臓)の成分の含有率が1%以上10%未満であるため、区分2(肝臓)とした。また濃度限界未満であるが、区分2の標的臓器毒性物質成分を1%以上含む。
- 誤えん有害性 : 情報なし。

**12. 環境影響情報**

生態毒性	:	情報なし。
残留性・分解性	:	情報なし。
生体蓄積性	:	情報なし。
土壌中の移動性	:	情報なし。
オゾン層への有害性	:	情報なし。
他の情報	:	(水生環境有害性(急性)) 区分2の成分を2.5%以上25%未満の範囲で含むことから、区分3とした。

**13. 廃棄上の注意**

残余廃棄物	:	都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。
汚染容器及び包装	:	内容物を除去した後、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。

**14. 輸送上の注意**

特別の安全対策	:	輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
国内規制-陸上輸送	:	消防法、毒劇物取締法、高圧ガス保安法、道路法等に定められている輸送方法に従う。
国内規制-海上輸送	:	船舶法に定められている輸送方法に従う。
国内規制-航空輸送	:	航空法に定められている輸送方法に従う。

**15. 適用法令**

消防法	:	該当しない
労働安全衛生法	:	表示・通知対象物質に該当する (エタノール)
毒物及び劇物取締法	:	該当しない
化学物質排出把握管理促進法	:	該当しない

**16. その他の情報**

記載内容の : 取扱い	:	この情報は、新しい知見に基づき改訂されることがあります。 記載内容は現時点で入手できた資料・情報・データ等に基づいて作成しておりますが、含有量、物理・化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。 尚、営業秘密である成分情報は非開示(濃度においては幅記載を含む)と記載している場合があります。また、注意事項は通常の実用性を対象としたものなので特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全策を実施の上、ご利用ください。
----------------	---	--